

# 建学の精神を羅針盤に大学改革推進

# 三十一歳専修

専修大学ホームページ http://www.senshu-u.ac.jp/

毎月1回15日発行 (定価一部90円) 発行所 専修大学広報課 101-8425 代田区 京都市保町3-8 東神保 03-3265-5819(直)

### 主なニュース

大学院政策科学シンポジウム「世界大不況と日本の行方」……3  
創立130年記念式典・祝賀会／専大とともに 神田神保町探索……4  
卒業生の小堺一機さんをゲストに 「学生と共に130年」／ホームカミングデー……5  
台湾で古民家移築に協力(大矢根ゼミ)／軍事郵便「展示(新井ゼミ)」……10  
石巻専修大学 国道398号「石巻北バイパス」12月12日開通へ……12  
北海道短大 第41回北鳳祭開催／小樽見学ツアー……13

130th Anniversary 1880~2009

本紙へのご意見をお聞かせください koho@acc.senshu-u.ac.jp

2009年 創立130年 専修大学

あたらしい知の冒険がはじまります。

### 入学試験要項・願書が完成

7/1入試・願書配布会

11/28 仙台・新潟・広島・福岡

12/5 札幌・名古屋

入学センターインフォメーション (神田キャンパス) TEL03-3265-6677 (生田キャンパス) TEL044-911-0794 http://www.senshu-u.info

学校法人専修大学は10月28日開催の理事会・評議員会において任期満了に伴う役員改選を行い、11月3日開催の理事会で日高義博氏を理事長に選任(再任)した。就任は11月3日付、任期は3年間。

なお、日高理事長は07年(平成19年)に専修大学長に再任。現在2期目であり、引き続き学長を兼務する。

## 理事長就任にあたって

### 日高 義博

本学は、今年9月に創立130年を迎えました。この節目の年に理事長に再任され、その任の重責を感念して、10月30日には、創立130年記念式典が厳かに挙



行され、引き続き祝賀会が1000人を越える出席者のもと華やかに行われました。来るべき創立150年に向けて飛躍する勇氣と活力を得ました。法人と教学との一致協力態勢のもと、オール専修の力を結集し「大学改革の時代」を乗り越えたいと思います。

18歳人口の減少にともない「全入時代」に突入し、大学間競争はますます激しさを増しています。待たなしの大学改革は、130年記念館に続き、財政の安定化に努め、魅力あるキャンパス作りを行いたいと思います。大学では研究に裏づけられた教育を行うべきだと考えていますので、大学の研究力の向上は、極めて重要です。とくに、専修大学にあっては社会性開発研究センター、石巻専修大学にあっては大学開放センター、共創研究センターの任務は重要であり、その活性化と研究発信力の増強のためには政策的な配慮が必要だと考えています。来年4月からは、専修大学にあっては、新学部「人間科学部」がスタートし、文学部も新しい「人文・ジャーナリズム学科」を含んだ7学科編成になります。建学の精神を羅針盤としながら、骨太の大学改革を推進しなければなりません。

が、財政の安定化に努め、魅力あるキャンパス作りを行いたいと思います。大学では研究に裏づけられた教育を行うべきだと考えていますので、大学の研究力の向上は、極めて重要です。とくに、専修大学にあっては社会性開発研究センター、石巻専修大学にあっては大学開放センター、共創研究センターの任務は重要であり、その活性化と研究発信力の増強のためには政策的な配慮が必要だと考えています。来年4月からは、専修大学にあっては、新学部「人間科学部」がスタートし、文学部も新しい「人文・ジャーナリズム学科」を含んだ7学科編成になります。建学の精神を羅針盤としながら、骨太の大学改革を推進しなければなりません。

## 檀国大学(韓国)／ベトナム国立大学／ラオス国立大学

### 国際交流協定校学長会議を開催

# 「アジアの絆深めよう」

## “人間の学問”で連携を——日高学長

アジア諸国の国際交流協定校学長会議が10月29日、神田キャンパス国際会議室で開催された。日高義博理事長・学長は専修大学創立130年を契機として、アジア圏での大学間との連携強化を訴えた。

国際交流協定校から参加した総長・学長は檀国大、ラオス国立大学のソン・サイヤラー、ベトナム国立大学のグエン・バン・カイン学長、荒木敏夫副学長、室井義雄経済学部長ら各学部長、大林守国際交流



▲中央であいさつする日高理事長・学長



▲ラオス国立大のサイヤラー学長 ▲ベトナム国立大のグエン学長 ▲檀国大・張総長(左)と通訳の宋教授

センター長、石巻専修大学から坂田隆学長、中込真二・国際交流センター長ら35人が参加した。日高学長は基調講演で「専修大学の前身「専修学校」を創立した4人の志や専修大学の歴史を語った後、21世紀ビジョン「社会知性の開発」の理念を説明した。

「文化の相対性と社会構造の違いを理解し合う『知の連携』を構築し、国境を越えて社会貢献につながる人と学術の交流を促進する原動力とした『社会知性の開発』が果たしうる可能性を強調した。

檀国大学の張総長は「18歳人口の減少による大学間競争は、韓国でも文化研究科地域文化研究博士課程」——写真▽ラオス国立大のサイヤラー学長、ベトナム国立大のグエン学長、檀国大学の張総長ら35人が参加した。日高学長は基調講演で「専修大学の前身「専修学校」を創立した4人の志や専修大学の歴史を語った後、21世紀ビジョン「社会知性の開発」の理念を説明した。

「文化の相対性と社会構造の違いを理解し合う『知の連携』を構築し、国境を越えて社会貢献につながる人と学術の交流を促進する原動力とした『社会知性の開発』が果たしうる可能性を強調した。



ベトナムからの元特別聴講生 ヴォ・ミン・ヴさんら通訳で活躍

当日、通訳として活躍したのは▽韓国語▽宋英(檀国大学教授)▽ベトナム語▽ヴォ・ミン・ヴ(東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究も週1回新井研究室に通じる)が忘れられない」と今